



昭和記念公園の1枚

グループホーム・ケアホーム（GH・CH）は現在10ホムのあり、今年度中に11番目のホムの開設を予定しています。当初は今年春までショートステイ「クローバー」として使用していた物件を改修して利用する予定でしたが、諸般の事情により開設時期が大幅に遅れる見通しになってしまいました。

そのため別の物件を探さなければと思っていたところ運よくある大家さんから「うちをグループホームで借りてくれないか？」という申し出がありました。早速見学をしました。大きき、間取りも大変良いものでした。4年前に一度、交渉していたことを思い出して下さったとのことでした。大変ありがたいお話です。

今回は、男性用ホームで5名の入居者を予定しています。GH・CH事業部では杉並区以外でも積極的にホームの開設をめざしています。

当法人では住み慣れた地域の中で障害者ご本人とそのご家族がどうすれば安心して生活していただけるかを誠心誠意考え、積極的に地域支援と向かい合っています。

年末年始、ゴールデンウィーク、夏休みなど季節ごとにイベントを企画しています。8月13日には昭和記念公園でバーベキュー大会を開催し、入居者様、ボランティア、スタッフ合わせて40人以上でスイカ割りなどを楽しみました。また、年末には合同忘年会、年始には初詣、お節づくりなどの企画があります。

**いたる賛助会入会のご案内**

「いたる賛助会」では「いたるセンター」の活動を支援していただける方を募集しています。

「幸せな地域社会を作りたい」がこの会設立の趣旨であります。

年会費 105千円（何口でも可）  
郵便振り込み 00110712892  
（同）33927346 事務局 山本まで

いたる通信 46 紅葉の秋号

ITARU CENTER

目次 contents

- 01 巻頭言  
グループホーム・ケアホーム事業部  
いたる賛助会
- 02 阿佐谷福祉工房  
あけぼの作業所  
クローバー
- 03 サポートウイズ  
いたる相談室  
目黒本町福祉工房
- 04 Puku Puku  
さん まるしえ

グループホーム・ケアホーム新規開設に向けて

白滝 則男 (しらたき のりお)

**いたる賛助会について**

5千円から始める、地域福祉への貢献

「いたる賛助会」に参加ください。いたる賛助会は、いたるセンターの行う福祉活動を支援するとともに、地域に密着した活動を中心に据え、広い視野で地域に生活する障害者（児）の福祉の向上を目的として、平成11年に発足しました。会員数は144名（今年3月末現在）で、いたるセンターの施設・サービスの利用者の父兄が中心となっています。集められた会費は、主にグループホームの設立や運営をはじめとする、いたる事業支援費として地域福祉の向上に充てられ、平成23年度の事業報告では、「グループホーム増設事業費」「法人本部屋舎建て替え工事協賛事業費」として、120万円を寄付しました。

パン工房 PUKUPUKU

雑誌「中央線ベーカリー」で紹介されました！

本年8月1日にグラフィック社より発行されました雑誌「中央線ベーカリー」に荻窪の店舗としてPuku Pukuが紹介されました。天然酵母、国産小麦で作られたパンの紹介で、食パンを中心に沢山のパンが見開きで紹介されています。

これを機にご来店客増員キ



中央線ベーカリー

また、毎日時間ごとに焼きあがるパンの紹介・呼び込みを店頭にて実施しています。一方、月17回程行っている引き売りと保育室、児童相談所などへの定期的な外販を行い、拡販に努め、日々活気あ

具体的には、毎週金曜日に近隣に500枚のチラシのポスティングを実施しています。内容は翌週一押しの商品の紹介です。



杉並区役所での外販活動



る店作りを心がけています。



まんまるぶどうぱん 85円



復活！かぼちゃのスイートサラダ 140円



おさつスイーツ 190円

Sun Marche (さんまるしえ)

ハロウィンを楽しむ

秋を迎える店舗では、喫茶の充実と各施設と共同企画のフェアを開催致します。喫茶では、目黒区内の施設清水実習所で製造されたブルーベリージャムをのせたヨーグルトと抹茶ドリンクを新たにメニューに登場させます。フェアは毎月各施設と共同で開催していますが、10月初旬からスタートする「ハロウィン」フェアを昨年同様開催いたします。

各施設には「ハロウィン仕様」の商品（キャンドル、シユシユ、焼き菓子等）を企画生産していただき店内で販売すると同時に、ハロウィンパンキンの塗り絵をご来店のお子様を描いていただき、店内展示する等のアトラクションも行ってフェアを盛り上げます。



ぬりえを店内に飾ります



ヨーグルトブルーベリージャム 100円



手作りブルーベリージャム 1瓶 (200グラム) 300円

いたる広報委員

発行責任者=谷山 哲浩  
社会福祉法人いたるセンター  
〒167-0032  
東京都杉並区天沼1-15-18  
TEL: 03-3392-7346  
FAX: 03-3391-8039  
Eメール: info@itarucenter.com  
HP: http://www.itarucenter.com/  
発行日/平成24年10月1日

ご意見・ご感想がございましたら、上記のFAX、Eメール等でお声をお寄せ下さい。  
いたる広報委員まで。





### 阿佐谷福祉工房

就労継続B型事業部スタッフ

#### 新屋舎の屋上で農園開始!

樋口 善明 (ひぐち よしあき)

奇跡のりんごの木村秋則様に師事されている方からコーチングしていただきながら、土壌改良を行っています。無肥料無農薬栽培の自然農法で安全・安心の作物を提供していくことを視野に入れてスタッフの準備を進めています。

また今後は、「(仮称)阿佐谷農園クラブ」等の協力員を募集してその方達を中心に購入協力をしてもらえるような事業展開を考えています。土壌の改良や、屋上でご利用者が安全・安心して作業してもらえるようマニュアル作りなどに力を入れて本格実施できるように準備を進めています。



屋上菜園の様子

幸せを感じる事業を提供していきたいと思っています。

### あけぼの作業所

就労継続B型事業部統括リーダー

#### 「さんまのタイカレー?」

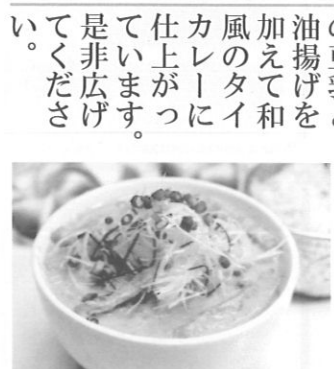
金澤 妙子 (かなざわ たえこ)

あの東日本大震災から、1年半が過ぎました。メディアの情報も一気に減り、風化しつつある中、実際現地はまだまだ手つかずのところも多く、本当の意味での復興ま



温めるだけ!

では、かなりの年月がかかりそうです。「何か、私もしたい」と、現地を六回訪れ、昨年五月の初回の際、障害者施設の状態を確認する中で、社会福祉法人はらから福祉会の武田理事長との出会いがありました。その後、東北の自主生産品を販売する形での応援を行い、三陸の魚を使ったタイカレーはできませんか?とお話をいただきました。



盛りつけの一例です

今年五月に社会福祉法人はらから福祉会のくりえいと柴田に製造をお願いするコラボレーションの形で、念願の復元支援商品「さんまのタイカレー」ができました。



マルコ外観

杉並区からの要望を受け、10月1日(月)より日帰りショートステイ「マルコ」を新たに始めることになりました。



マルコ内観

またクローバーは、新屋舎で事業をスタートしてから半年近くが過ぎようとしています。

たくさんのご要望にお応えするため、受け入れ可能な床数も最大5床から最大8床になりました。現在は受け入れの定員にゆとりも出るような状況になっています。同性介助に出来る為の職員体制も当初より充実しています。

※ご利用にあたり、事前に再契約をお願いしております。平成24年4月以降の新屋舎での契約取り交わしがお済みでない方は、クローバーまでご連絡ください。

### サポートウイズ

#### 障害者を支援、高齢者を介護

所長 八巻 利子 (やまき としこ)

これまでサポートウイズは、自立支援法においては住宅訪問介護/重度訪問介護/同行援護/地域生活支援(移動支援)を、介護保険法においては、訪問介護/予防訪問介護を主な事業として、地域福祉ニーズにお応えしてきました。



ラシを制作しました。近隣やサービスマンユーザーに配布を始め、アピールに努めています。

サポートウイズでは、より充実した事業体制により、障害者や高齢者の方が、住み慣れた地域で安心して暮らせるような支援・介護を心がけ、ご家族や関連機関(区・包括支援センター・医療機関など)と連携しながら、今後もさらなる総合的な福祉サービスマンを提供していきます。

### いたる相談室

#### 定期的に作品展を開催

相談支援員 厚地 朋子 (あつち ともこ)

いたる相談室では地域の方に向けて、相談室での活動を知っていただくために年2回「作品展」を開催しています。今年度の第1回目は、7月21日22日に開催しました。布絵本、カレンダー、刺繍、さをり織りなど、利用者の皆様それぞれのアイディアを生かして作った作品を展示しました。



作品制作の様子

#### 【作品展】開催のお知らせ

日時:平成24年12月1日(土) 2日(日) 午前10時~午後3時 場所:いたる相談室

直接ご来室いただいた方にも楽しんでいただける参加型のイベントもご用意しています。お気軽にご参加くださいませ。

行い、手作りコーナーで、紙粘土を使った「お弁当づくり」や「写真立て作り」など作品コーナーを用意し、来所された方に楽しんでいただきます。



工房屋上菜園での収穫風景

### クローバー

クローバー所長

影山 仁美 (かげやま ひとみ)

#### マルコ再開!

杉並区からの要望を受け、10月1日(月)より日帰りショートステイ「マルコ」を新たに始めることになりました。



マルコ外観

ご利用対象者は5歳から18歳(高校卒業前まで)と考えております。

### 目黒本町福祉工房

就労継続支援B型支援員

#### 第一回本町まつり

森本 英一 (もりもと えいち)

多くの人が待ちに待った目黒本町福祉工房のお祭りが11月17日(土)に開催されます。

スクリーン印刷の体験等、作業体験の企画もあります。また、普段見ることのできない屋上菜園やテラスなども開放し、みなさんに見ていただきたいと思っております。